

5月号

校長室だより

令和8年4月30日
座間市立相武台東小学校
校長 柏木 直樹

子どもたちが新しい学級や学習に慣れ、学校生活が安定してきました。このタイミングで、本校の教育の方向性を示す「グランドデザイン」を保護者の皆様と共有したいと思います。学校と家庭が同じ目標を見つめることで、子どもたちの成長をより力強く支えていけると考えています。



グランドデザインについて（裏面に記載）

子どもたち一人ひとりが未来を力強く切り拓いていけるよう、グランドデザインについて全教職員で共有しながら教育活動を進めております。

【学校教育目標】

「自ら考え行動する、たくましく心豊かな児童の育成」

この目標には、子どもたちがこれからの社会を生きるうえで欠かせない三つの力を込めています。一つ目は、自分で課題を見つけ、考え、判断し、行動する力。二つ目は、他者とつながり、思いやりを持って関わる力。三つ目は、困難に向き合い、粘り強く挑戦し続ける力です。本校では、学習面だけでなく、生活や友人関係、地域との関わりなど、学校生活全体を通してこれらの力を育てていきます。

◇指導の重点◇

「温かな関わり合いを通して、みんなで成長できる児童の育成」

子どもたちは、誰かに認められ、支えられ、励まされることで、自分の力を発揮しようとする意欲が高まります。そのために本校では、教師と児童、児童同士の関係づくりを大切に、安心して学びに向かえる環境づくりを進めています。

- ・授業では、互いの考えを尊重し合いながら学び合う活動を増やす。
 - ・生活面では、温かな声かけや丁寧な対話を通して自己肯定感を育む。
 - ・行事や体験活動では、協力し合う経験を積み重ね、仲間との絆を深める。
- こうした日々の積み重ねが、子どもたちの成長を確かなものにしていきます。



◇めざす児童像◇

本校が育てたい子どもの姿として、次の三つを掲げています。

〈心豊かな子〉

思いやりを持ち、相手の気持ちを想像しながら行動できる子。困っている友達に自然と手を差し伸べられる子。心の豊かさは、学力と同じように、これからの社会で必要とされる大切な力です。

〈自ら学ぶ子〉

「わかった」「できた」という喜びを自分の力でつかみ取ろうとする子。課題に向き合い、試行錯誤しながら解決を図る子。主体的に学ぶ姿勢は、将来の学び続ける力につながります。

〈たくましく生きる子〉

自分や友達の命・健康を大切に、困難にも前向きに挑戦できる子。最後までやり抜く粘り強さを持つ子。失敗を恐れず挑戦する経験を積むことで、子どもたちは大きく成長します。

これらの児童像は、学校だけで育てられるものではありません。家庭での温かなまなざし、地域の皆さまの支えがあってこそ、子どもたちは豊かに育っていきます。

本校では、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てる「チーム学校」の考え方を大切にしながら、教育活動を進めてまいります。今年度も、子どもたちの成長を共に喜び合える一年となるよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

《裏面をご覧ください》